

奈良原一高

Ikko Narahara

- 1931年 福岡県に生まれる
1954年 中央大学法学部卒業
1959年 早稲田大学大学院美術史専攻修士課程修了
1959年 東松照明、細江英公、川田喜久治、佐藤明、丹野章らと「VIVO」を結成
1962-65年 パリ在住
1970-74年 ニューヨーク在住
1974年～ 東京を中心に活動
1999-2005年 九州産業大学大学院教授

受賞および受章

- 2006年 旭日小綬章
2005年 日本写真協会賞功労賞
1996年 紫綬褒章
1987年 第3回東川賞国内作家賞
1986年 日本写真協会賞年度賞
1968年 芸術選奨文部大臣賞
1968年 第9回毎日芸術賞
1967年 日本写真批評家協会作家賞
1959年 第2回ヴェネツィア国際写真ビエンナーレ銅賞
1958年 日本写真批評家協会新人賞

個展

- 2018年 「《人間の土地》とグループ「実在者」」 島根県立美術館（松江 島根）
「スペイン」 高浜市やきものの里かわら美術館（愛知）
「肖像の風景」 島根県立美術館（松江 島根）
2017年 「華麗なる闇 漆黒の時間(とき)」 キヤノンギャラリー S（東京）
「奈良原一高の愛したヴェネツィア」 島根県立美術館（松江 島根）
2016年 「ヴェネツィアの夜」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
「消滅した時間」 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館（東京）
2015年 「Japanesque 禅」 フォト・ギャラリー・インターナショナル（以下P.G.I.）（東京）
「静止した時間」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
2014年 「奈良原一高 王国」 東京国立近代美術館（東京）
「奈良原一高 スペイン・偉大なる午後」 島根県立美術館（松江 島根）
2013年 「手のなかの空」 長崎県美術館（長崎）
2012年 「奈良原一高」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）

- 2010年 「手のなかの空」 島根県立美術館（松江）
- 2005年 「円形への視野への散歩」 九州産業大学美術館（福岡）
「円」（En - Circular Vision）丹波市立植野記念美術館（兵庫）
- 2004年 「Ikko Narahara」 フォトフォーラム（ビエンヌ スイス）
「時空の鏡：シンクロニシティ」 東京都写真美術館（東京）
「円」 ニコンサロン（東京および大阪）
- 2003年 「天」（HEAVEN）P.G.I.（東京）
「天」（HEAVEN）京都造形芸術大学 Gallery Raku（京都）
- 2002年 「Ikko Narahara」 ヨーロッパ写真美術館（パリ）
「王国」 島根県立美術館（松江）
- 2000年 「人間の土地」 島根県立美術館（松江）
「Zen」 ピッコロ・テアトロ・ストレーレル（ミラノ イタリア）
- 1999年 「円」 バーソウ・フォト・ギャラリー（東京）
- 1998年 「消滅した時間 1970-1974」 P.G.I.（東京）、ギャラリー807（北海道）
- 1997年 「消滅した時間」 台中攝影藝廊（台中 台湾）
「ポケット東京 1992-1997」 コニカプラザ（東京）
- 1995年 「ポケット東京」、「東京スカイライン」 コニカプラザ（東京）
「Tokyo, the '50s」 モール（東京）
- 1994年 「ブルーヨコハマ」 パストレイズ・フォト・ギャラリー（横浜）
「1万5千回の夜の間に」 プラザ・ギャラリー（東京）
- 1991年 「ブロードウェイ」、「復活の都市・1990」 P.G.I.（東京）
- 1989年 「天頂の街ベルガモ」 ウナックサロン（東京）
- 1987年 「人間の土地 1954-1957」 P.G.I.（東京）、ピクチャー・フォト・スペース（大阪）
「無国籍地」 ウナックサロン（東京）
「星の記憶」 パルコ・ギャラリー（東京）
「魅惑のヴェネツィア」 プランタン銀座（東京）、大丸ミュージアム（大阪）
- 1986年 「デジタル・シティー」 ニコンサロン（東京）
- 1985年 「肖像の風景」 有楽町朝日ギャラリー（東京）
「光と闇 二つの世界」 ウォーカーヒル美術館（ソウル 韓国）
- 1984年 「アムステルダム・フォト '84」（オランダ）
- 1983年 「夜光都市・ヴェネツィア」 ニコンサロン（東京）
「空気遠近法」 西武コンテンポラリー・アート・ギャラリー（東京）
- 1981年 「Ikko Narahara」 フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン）
- 1980年 「朝倉響子彫塑集 光と波と」 丸善画廊（東京）
「ヴェネツィアの光」 ニコンサロン（東京）
「Ikko Narahara」 シャルルロワ国際写真トリエンナーレ（ベルギー）
- 1979年 「光の回廊 サン・マルコ」 和光ホール（東京）
「ジャパネスクー近くて遙かな旅」 ニコンサロン、ウナックサロン、飯田画廊別館（東京）
- 1977年 「ブロードウェイ 1973-1974」 飯田画廊別館（東京）

- 1975年 「IKKO」 ライト・ギャラリー（ニューヨーク）
「静止した時間」 写大ギャラリー（東京）
- 1974年 「IKKO'S AMERICA」 ニコンサロン（東京）
- 1973年 「IKKO」 ジョージ・イーストマン・ハウス国際写真美術館（ロチェスター アメリカ）
「IKKO」 ナイクルー・ギャラリー（ニューヨーク）
- 1972年 「生きる歓び」 渋谷西武（東京）
- 1970年 「スペイン 偉大なる午後」 池袋西武（東京）
- 1965年 「スペイン 偉大なる午後」 富士フォトサロンおよび壹番館画廊（東京）
- 1960年 「ブルー ヨコハマ」 月光ギャラリー（東京）
「カオスの地」 富士フォトサロン（東京）
- 1959年 「城」 丸ノ内ギャラリー（東京）
- 1958年 「王国」 富士フォトサロン（東京）
- 1956年 「人間の土地」 松島ギャラリー（東京）

グループ展

- 2018年 「建築 x 写真 このみに在る光」 東京都写真美術館（東京）
「清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 原点を、永遠に。-2018-」
東京都写真美術館(東京)
- 2016年 「Black Sun/Red Moon: Pictures from Japan」 Ratio 3（サンフランシスコ アメリカ）
- 2013年 「ジャパニーズ・フォトグラフィー 戦後-現在」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2009年 「日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964」 世田谷美術館（東京）
- 2007年 「昭和の風景」 東京都写真美術館（東京）
「澁澤龍彦幻想美術館」 埼玉県立近代美術館（さいたま）
「VIVO」 写大ギャラリー（東京）
「山口県立美術館コレクション写真展<写真にみる戦後日本>」 砺波市美術館（富山）
- 2006年 「昭和の記憶」 群馬県立館林美術館（群馬）
- 2005年 「写真／長崎」 長崎県美術館（長崎）
- 2004年 「In the Center of Things」 アリゾナ大学・センター・フォー・クリエイティブ・フォトグラフィー
（ツーソン アメリカ）
- 2003年 「日本写真史展」 ヒューストン美術館（テキサス アメリカ）
「日本の写真 1945-1975」 シュリー館（パリ フランス）
「VIVO」 展 島根県立美術館（松江）
- 2002年 「Peace Art」 ニューヨーク、東京、他
「馬へのオマージュ」 東京都写真美術館（東京）
- 2002年 「写真と20世紀の風景」 東京国立近代美術館（東京）
- 2001年 「Viva! ITALIA」 東京都写真美術館（東京）
「ギリシャ・フォトフェスタ The Spirit of Religion」 スコペロス写真センター（ギリシャ）
- 2000年 「P.G.I.ギャラリー・アーティスト展」 P.G.I.（東京）

- 1999年 「写真表現の軌跡/第2部 日本の写真：1950年代から現代まで」 東京都写真美術館（東京）
「写真再発見 東京国立近代美術館の写真コレクションより」 東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
- 1998年 「戦後日本のリアリズム 1945-1960」 名古屋市美術館（愛知）
- 1996年 「1953年 ライトアップ 新しい戦後美術像が見えてきた」 目黒区美術館（東京）
- 1995年 「写真都市 TOKYO」 東京都写真美術館（東京）
「日本現代写真史展」の総合展示「記録・創造する眼」 三越本店（東京）
「戦後文化の軌跡 1945-1995」 目黒区美術館（東京）
「澁澤龍彦画廊展」 日動画廊（東京）
「Hyogo Aid '95 by Art: 23 Artists」展 日本各地を巡回
- 1994年 「Reflection of Venice」 プリンストン大学美術館（ニュージャージー アメリカ）
「Quest For the Moon」 ヒューストン美術館（テキサス）
- 1993年 「時代をひらいた写真家たち 1960-70年代」 東京都写真美術館（東京）
- 1991年 「54 Master Photographers of 1960-1979」 国際写真センター（ニューヨーク）
「日本写真の転換 1960年代の表現」 東京都写真美術館（東京）
「写真の 1955-65 自立した映像群」 山口県立美術館（山口）
「Venice」 ニューチャーチ美術館（アムステルダム オランダ）
- 1990年 「東京-TOKYO」 有楽町西武アートフォーラム（東京）
「International View Point」 ヒューストン美術館（テキサス アメリカ）
- 1988年 「日本の写真家 8人展」 P.G.I.
- 1987年 「写真 1945-1985」 ハンブルク工芸装飾美術館（ドイツ）
- 1986年 「1910-1970 Japon des Avant-gardes（前衛芸術の日本 1910-1970）」
ポンピドゥー・センター（パリ）
- 1986年 「Houston and the Rodeo」 ヒューストン・フォト・フェスト・ビエンナーレ（テキサス）
- 1985年 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館 '85（茨城）
- 1982年 「20世紀の写真・ニューヨーク近代美術館コレクション展」 西武美術館（東京）
「国立国際美術館所蔵展」 国立国際美術館（大阪）
- 1981年 「Das Imaginäre Photo-Museum」 フォトキナ（ケルン ドイツ）
- 1979年 「Japan: A Self-Portrait」 国際写真センター（ニューヨーク）
「Fleeting Gestures: Dance Photographs」 国際写真センター（ニューヨーク）
「Fotografia Giapponese Dal 1848 Ad Oggi」 ボローニャ近代美術館（イタリア）他
- 1978年 「VIVO」 サンタバーバラ美術館（カリフォルニア アメリカ）
「アルル国際写真フェスティバル」に招待出品（アルル フランス）
- 1977年 「Locations in Time」 ジョージ・イーストマン・ハウス国際写真美術館
（ロチェスター アメリカ）
- 1976年 「Neue Fotografie aus Japan」 グラーツ市立美術館（オーストリア）
- 1974年 「New Japanese Photography」 ニューヨーク近代美術館（アメリカ）
「世界の10人展」 マックマスター・ギャラリー（オンタリオ カナダ）
- 1966年 「現代写真の10人」 東京国立近代美術館（東京）

- 1962年 「NON」 松屋（東京）
1960年 「現代写真 1959」 東京国立近代美術館（東京）
1959年 「第2回ヴェネツィア国際写真ビエンナーレ」（ヴェネツィア イタリア）
1958年 「日本主観主義写真展」 富士フォトサロン（東京）
1957年 「10人の眼」 小西六フォトギャラリー（東京） 58、59年にも出品
1956年 「第1回国際主観主義写真展」に招待出品、日本橋高島屋（東京）

出版物

- 「太陽の肖像：文集」 白水社（2016年）
「奈良原一高 王国」 東京国立近代美術館（2014年）
「手のなかの空」 島根県立美術館（2010年）
「無国籍地 Stateless Land - 1954」 クレオ（2004年）
「奈良原一高写真集-時空の鏡-」 新潮社（2004年）
「円 En - Circular Vision」 クレオ（2004年）
「Ikko Narahara」 ヨーロッパ写真美術館（2002年）
「天 HEAVEN」 クレオ（2002年）
「奈良原一高」 <日本の写真家 31> 岩波書店（1997年）
「ポケット東京」 クレオ（1997年）
「Tokyo, the '50s」 モール（1996年）
「砂の上の黒い太陽 -林英美子編」 人文書院（1996年）
「消滅した時間 1970-1974」 <再編集版> クレオ（1995年）
「1万5千回の夜の中に」 モール（1994年）
「空 Ku」 リプロポート（1994年）
「Japanesque」 フェデリコ・モッタ社、ミラノ（1994年）
「デュシャン大ガラスと瀧口修造シガー・ボックス」 みすず書房（1992年）
「ブロードウェイ」 クレオ（1991年）
「人間の土地」 リプロポート（1987年）
「ヴェネツィアの光」 流行通信（1987年）
「星の記憶」 パルコ出版（1987年）
「肖像の風景」 新潮社（1985年）
「ヴェネツィアの夜」 岩波書店（1985年）
「空気遠近法」 現代版画工房 <詩・田村隆一、写真・奈良原一高>（1983年）
「昭和写真・全仕事 9 奈良原一高」 朝日新聞社（1983年）
「光の回廊 サン・マルコ」 ウナクトウキョウ（1981年）
「プラネタリー・ボックス 18 写真の時間」 工作舎 松岡正剛との対談集（1981年）
「朝倉響子 彫塑集 光りと波と」 パルコ出版（1980年）
「日本の美 現代日本写真全集 第9巻 近くて遙かな旅」 集英社（1979年）
「ソノラマ写真選書 9 王国 沈黙の園・壁の中」 朝日ソノラマ（1978年）
「Seven from Ikko」 <ポートフォリオ> ウナクトウキョウ（1977年）

- 「消滅した時間」朝日新聞社（1975年）
- 「生きる歓び」毎日新聞社（1972年）
- 「映像の現代1 王国」中央公論社（1971年）
- 「奈良原一高 ポートフォリオ ヨーロッパ」筑摩書房（1971年）
- 「ジャパネスク」毎日新聞社（1970年）
- 「スペイン 偉大なる午後」求龍堂（1969年）
- 「八木一夫作品集」求龍堂（1969年）
- 「ヨーロッパ・静止した時間」鹿島研究所出版会（1967年）

パブリックコレクション

- 東京国立近代美術館（東京）
- 国立国際美術館（大阪）
- 東京都写真美術館（東京）
- 横浜美術館（神奈川）
- 川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 山口県立美術館（山口）
- 島根県立美術館（松江）
- 兵庫県立近代美術館（神戸）
- 神戸ファッション美術館（兵庫）
- 清里フォトアートミュージアム（山梨）
- 日本大学（東京）
- 東京工芸大学写大ギャラリー（東京）
- 多摩美術大学美術館（東京）
- 九州産業大学（福岡）
- 堺市役所（大阪）
- 呉市立美術館（広島）
- 高浜市やきものの里かわら美術館（愛知）
- 東川町（北海道）
- ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- ボストン美術館（マサチューセッツ アメリカ）
- ヒューストン美術館（テキサス アメリカ）
- ジョージ・イーストマン・ハウス国際写真美術館（ロチェスター アメリカ）
- プリンストン大学美術館（ニュージャージー アメリカ）
- アリゾナ大学センター・フォー・クリエイティブ・フォトグラフィー（ツーソン アメリカ）
- パリ国立図書館（パリ）
- ヨーロッパ写真美術館（パリ）
- ハンブルク工芸装飾美術館（ハンブルク ドイツ）
- 台北市美術館（台北 台湾）